

鎌倉市市民活動センター広報紙 第106号 令和5年 春光号 (季刊)

発行/編集: 鎌倉市市民活動センター <https://npo-kamakura.com/>

リレートーク No.25

こんな市市民活動しています!

子育てママ、孤立からワクワクへ



hinatabocco
(ひなたぼっこ)
五十嵐めぐみ



hinataboccoへの
アクセスはこちらから

代表の五十嵐がママ友で、
会を立ち上げる時に誘われました♪
今後は、クリティカルシンキング力を
高める英語クラスの継続、拡大とともに、
シニアとの世代間交流や異文化
交流系イベントをもっと増やしてい
きたいです!

私は第一子出産を機に退職し鎌倉に引っ越してきたため、友達のいない状況ではじまった子育てでした。知り合いのいない土地での初めてづくしの子育てと社会との断絶感で、子どもと二人だけの時間が怖いと感じた時もありました。そんな時NPO法人ハーティ港南台で活動を始め、そのストレスから解放されました。

2011年に現理事の2人と出会い、出産後の自分の経験から「キラキラと輝きながら子育てや仕事をがんばっている女性を応援したい」と思い、2012年に自分の団体を立ち上げました。2019年に法人化、一貫してママの楽しさを重要視し、ママたちによって創られたママたちのための空間づくりを理念としています。自分らしく笑顔で子育てできるようにママ自身の「好き」や「やりたい」を実現する場、未就園児・児童を持つママが、子どもを連れて働く」ことができる第3の働き方を探すことを目指し活動しています。

メンバーもそれぞれ仕事や子育てだけでなく、今までのキャリアを活かして活動しています。参加親子の笑顔や子ども達の成長を見ることができ、また保護者の悩みの相談相手になれることなど、私たちも多くのやりがいを感じています。

事業としては、主に子どもを対象とした英語クラスの主宰、大船仲通りハロウィンウォークや鎌倉中央公園でのイースターエッグハントなどのイベント開催、また今年1月からは「放課後かまくらっこ」で国際交流や英語あそびも始めました。SNSでの発信をこまめに行うように心がけ情報を一人でも多くの親子に届くよう頑張っています。



イースターエッグハント・ピクニック

「笑顔になりたい」と思ったら、迷わずhinataboccoのイベントに遊びに来てくださいね!



メンバー集合写真

何かしたいと思っていたら、誘われて、hinataboccoの創立メンバー♪
子供を抱えたままのミーティングやイベントは当たり前です。
三人目の子もずっとそばにいたけど、活動と育児が二択を迫られるようなことはありませんでした。そんな素敵な環境を、もっともっと広めていければいいな、と思っています!

リレートークとは:

鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。

鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思ひます。是非、お知らせください。

令和4年度「つながる鎌倉エール事業」がスタート

鎌倉市ではこれまでの「市民活動団体と市による相互提案協働事業」を見直し、令和4年度（2022年度）「つながる鎌倉エール事業」を新たに誕生させました。



協働事業の市の事業負担額の拡充を行い、また新たな地域の担い手や協働のパートナーとなる市民活動団体へスタートアップ支援が新設され、すでに動き始めているのをご存知でしたか？

スタートアップコースとは？

地域課題に取り組もうとする設立3年以内の団体を対象にした、上限10万円の補助金交付事業です。「地域のために私達ができることを始めてみよう！」と手をあげた団体のうち、昨年6月の公開プレゼンテーションを経て、下記3団体が見事採択されました。それぞれの活動紹介と今後の展望など、鎌倉市地域のつながり課のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。



スタートアップコースに採択された団体さんに実際に取り組んでみての感想やプレゼン成功のための秘訣などをうかがいました。「今年こそ…」とお考えの団体の方々、ぜひご参考に！

明月川・谷戸の会： 明月川の清掃・生態系保全及び明月谷の環境保全

鎌倉で暮らす人々は、生活基盤として「どれ位この地に自らの根を張っているのか」？自然豊かな住環境は、歴史的風致地区の景観維持を保つ行政力と住民による「魅力ある町づくり」のバランスで変化するのは？住み続けてきた鎌倉の良さに気づき、「住民がこの地に根付く」エール事業は何かと考え、『後世につながる里作り』を身近かな環境保全から始めました。

ここ1年「明月谷の変化」は台風19号の山林被害を含め市有地・県有地の危険樹木が伐採され、【谷戸の整備・環境保全・災害防止活動】が行政との現地立ち合い調査により実現されました。

旧明月荘跡地での「お月見会」に合わせた笛（篠笛、リコーダー、フルート、オカリナ）の演奏会では、町内の篠笛奏者を紹介でき、月夜に響き渡る音色に心穏やかな時を共有できました。



明月谷の枝打ち・枯木
危険樹木の伐採等、環境保全を推進

西鎌みんなの家： ひなたぼっこプロジェクト～不登校の子や親のための居場所づくり～

学校が居心地悪い、社会に馴染めないお子さんや保護者の方向けの第3の居場所を提供しています。居場所づくりは大変だけど、徐々に認知されていき、本当に必要な人に届きはじめていて、やりがいを感じています！昨年の選考会では「想いを届ける」に重点を置いてプレゼンしました。



ひなたぼっこ「餅つき大会」

鎌倉竹部：広報活動（竹を地域資源に変える活動）

私たちは竹林整備により適切に竹林を管理し、整備後の竹材を使って竹細工を行っています。鎌倉市のエール事業ということで、ある程度認知され、いろんなイベントから誘ってもらえることができました。そのイベントで使う竹ひごづくりの謝金や部材などの購入費用などに充てる予定です。厳しい財政のなか、貴重な補助金を有効に活用することができました。プレゼンの秘訣を上げるとしたら、起承転結の資料と持続可能なことを裏付けできる説明があると評価が高くなるかと思えます！



メンバー集合写真

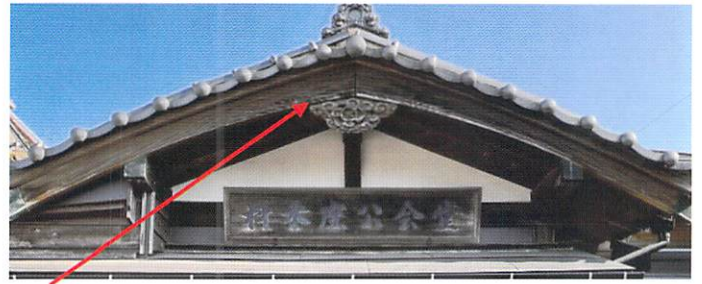
令和5年度「つながる鎌倉エール事業」スケジュール！

- ・鎌倉市主催 つながる鎌倉エール事業説明会：令和5年 4月16日（日）
スタートアップコース：9:30～10:30 協働コース：11:00～12:00
 - ・NPOセンター主催 エール事業応募者向け勉強会／相談会 4月24日（月）13:30～15:30
- ！ 詳細、お申込方法などはホームページをご覧ください。



町民のアイデンティティー、文化財登録へ

古くは鎌倉時代から船の寄港地として賑わい、明治以降には別荘地としての宅地開発がすすんだ材木座。昔ながらの漁師町と商店街、住宅地、そして海が一つとなり、住み継がれている魅力あふれる地域です。今号は、この材木座にある11の自治会で構成される「材木座自治連合会」が6年かけて挑んだ「公会堂の改修工事」のお話を伺いました。



玄関上部にある材木座の紋章「角輪」：
四角と丸の組み合わせたマークは江戸時代の材木座火消し組の印。丸が「芥子(けし)」四角が「拵(ます)」で「消します」をもじったという



公会堂の歴史と老朽化

材木座公会堂は、1918年（大正7年）に講堂と町の防火・消防拠点として、町民や別荘地の住民らの寄附により建てられた木造建築物です。玄関に残る寄付者銘板には総勢333名、最高額300圓、少ない額で50銭、総額5,448圓とあり、現在の価値では5,000万円以上の募金が集められたと記されています。

完成後5年で関東大震災が起きました。多くの木造建築物が倒壊するなか、大きな損傷も、津波被害にもあわず、発災後の救護活動の拠点として活躍したそうです。また太平洋戦争中には、出征兵士の見送りや物資配給の場としても活用された過去も。戦後から現代までは、選挙の投票所や自治会の会議、いきいき体操、赤ちゃんの広場、講演会など多岐にわたり利用され、令和2年時点でもほとんど予約で埋まっているという、地域に愛される公会堂でした。一方、その100年超えの建物には、設備の古さゆえ、全面改築を希望する声が上がっていました。

建て替えか？保存か？

そんな中、2011年におこった東日本大震災。津波浸水への危機感もあり、連合会ではこの公会堂を防災拠点として見直すため2017年「公会堂建て替えプロジェクト検討委員会」を発足し多くの議論を重ねていきました。

委員会では、予算上また法の規制から現状を超える大きさの建物への建て替えは難しいということが確定されました。しかし、この建物がまちの歴史とともにずっと住民に使いつながれてきた材木座のアイデンティティーでありシンボルであることを再確認することができました。そして現在の姿を生かしつつ、まちづくりの核として住民が利用し続けることこそが必要で「耐震補強を優先し、大規模改修する」という結論が導かれました。

さらに連合会は、この建物を保存、再生をすすめることを目的に2018年（平成30年）、国の登録有形文化財へ登録申請するという挑戦に踏み出したのです。登録されることで、鎌倉では大変珍しい関東大震災以前の木造建築物であることや公会堂が持つ歴史・文化的価値を多くの人に知ってもらうことにつながるからです。

登録有形文化財への道のり

文化財登録や改修工事を行うには建物登記が不可欠です。これまで、連合会が実質の運営・管理を行ってはいましたが、法的には不明瞭でした。正式な「所有者」を連合会にするためには法人格が必要でした。

そこで、まず地域住民に連合会を法人化することを諮り「一般社団法人」として法人格を取得。次に法務局へ建物の登記を完了、その後文化庁へ登録有形文化財への登録申請を行う一連の手続きを終え、ようやく令和2年8月、無事に国の登録有形文化財に登録されました。自治会館の文化財登録は鎌倉で初めて、さらに自治組織としての一般社団法人の登録も初という、前人未到の挑戦と経験でした。ありがたいことに、国の登録有形文化財への登録に伴って、耐震診断、補強設計、工事費用には高率の公的補助金が交付される目途も立ちました。一方、民間資金としては繰越金に加え、一世帯あたり3千円相当を拠出、また多くの寄付も集まり総費用2900万円に充当されました。

こうして住民の尽力により、今年4月1日から公会堂の利用が再開されます。100年前の思いをさらに100年後へ、地域住民の思いは引き継がれています。

（取材協力：材木座自治連合会の皆様）



新たに設置された登録有形文化財のプレート

新規登録団体のご紹介（2月～3月）

鎌倉パヴロバ会

近年世界のバレエ王国となった日本のバレエの発祥地が鎌倉であること、パヴロババレエスクールは鎌倉の西洋文化史を彩る存在であったことを発信し、周知に努めています。

鎌倉深沢コネクト

深沢に拠点を置き、深沢の住民をつなぎ、深沢の地域活性のために様々な活動を行っています。主には、深沢エリアの魅力や情報発信、住民による各種活動の支援、各種イベントの企画・運営などを行っています。

新ハイキングクラブ横浜支部

設立から66年続くサークルで、自主的に企画、運営しています。会費は年3300円。

入会金はなく、だれでも加入できます。健康を維持したい、楽しくハイキングや登山をしたい方歓迎します。

<https://yokohama-shc.com/>



事務局から

まちのコインの新スポットに！

昨秋NPOセンター鎌倉は神奈川県SDGsつながりポイント事業「まちのコイン」の加盟スポットになりました。そして3月「クルッポアワード2022新規スポット部門」を受賞しました！
まちのコインとは、お金で買えない体験を通して地域のつながりをつくるコミュニティ通貨のことです。（鎌倉の通貨はクルッポ）ひと・まち・地球にうれしい体験をご提供していきます。

地下道ギャラリー&市役所ロビー パネル展参加団体募集！

JR鎌倉駅地下道ギャラリー展、市役所ロビー展を開催します。日頃の活動の様子を紹介する良い機会ですので、ぜひご応募ください。（多数の場合抽選）詳細はセンターサイトをご確認ください。

- ・地下道ギャラリー展
5/30（火）～ 6/5（月） 10団体
- ・市役所ロビー展
5/29（月）～ 6/2（金） 6団体
応募期間：4/3（月）～ 14（金）

ボランティアのマッチング、 おつなぎしています

ボランティアを
してみたい方



ボランティアを
募集したい団体の方

まず、NPOセンターに電話かメールにてご希望をお知らせください。ご自身ができること、ご希望の活動分野、活動可能な曜日、時間帯などをお伺いして、ふさわしいボランティア活動・市民団体を紹介いたします。事前にアポイントを取り、直接スタッフとNPOセンターにて相談することも可能です。

募集内容の詳細情報（募集の目的・内容、活動場所、活動日時、対象、保険の適用有無、担当者、連絡先など）をお知らせください。NPOセンターサイトへの掲載と共に、定期的にセンターに登録されたボランティア希望の個人・市民にメールで情報提供します。

市役所駐車場の無料措置時間の延長について

鎌倉センターご利用の際の市役所駐車場の無料措置時間が延長となりました。手続き先となる鎌倉市の地域のつながり課が開いている「平日9:00～17:00」の利用であること、また会議室、印刷などでセンター利用時間中に限り無料となります。（1団体につき原則3台まで）

ご利用の度、センターで「市民活動センター利用証明書」を発行します。入館時に市役所駐車場利用であることを受付スタッフにお伝えし、駐車券をお預けください。駐車料金の無料措置を受けるためには、必ずお声かけいただくようお願いいたします。

ロッカー利用団体更新、新規募集のご案内

事務用品、作業機材、印刷用紙などの収納にいかがですか？（年単位）

<鎌倉センター>

スチール製（A4用紙対応 鍵付き） 1,000円／年
木製（A3・A4用紙対応） 500円／年

<大船センター>

ポリプロピレン製（A3・A4用紙対応） 500円／年



NPOセンター鎌倉

〒248-0012

鎌倉市御成町18-10
鎌倉市役所 第2分庁舎
TEL/FAX：0467-60-4555

E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061

鎌倉市台1-2-25
（たまなわ交流センター 1階）
TEL/FAX：0467-42-0345

E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

登録団体数：330団体

令和5年3月1日現在

※登録団体の登録内容
（連絡先・代表者・活動内容等）
に変更があった場合は、
速やかにお知らせください。